

フューチャー・アースとのかかわり

春日 文子

第 22 期学術会議の副会長などという分不相応な役職に就いて以来、何かとご迷惑をおかけしましたが、多くの先生方にご指導、お励ましをいただきましたことを、この場をお借りして深く御礼申し上げます。私などが背負うものでない重責に苦勞の連続でしたが、国内外で、それまでの人生では出会うことがなかった分野の人達と親しく交流する機会に恵まれたことは、一番の恩恵だったと思います。福島の問題にこんなに深く関わることも想像していませんでしたし、防災減災もただテレビや新聞で触れるだけの話でしたのに、間もなく仙台で開かれる国連防災世界会議に参加することになるとは信じられない展開です。これらの問題を通して、初めての分野の人達とのお付き合いが広がり、福島とも毎月のように往復することになりました。

そしてもう一つ意外だったのが、地球観測学や環境学との関わりです。「フューチャー・アース - 持続可能な地球のための研究」は、持続可能な世界への転換を促進するための国際的な研究プラットフォームです。国際科学会議（ICSU）や国際社会科学評議会（ISSC）、関連する国連機関や研究助成団体などがアライアンスとして統括し、今年 2015 年に本格稼働することになります。先行する地球環境研究の国際プログラムを統合し、さらに分野横断、特に文理の研究連携を図る学際的（インターディシプリナリー）研究と、社会におけるステークホルダーと研究の全ての段階において協働するという超学際的（トランスディシプリナリー）研究の概念を導入した、新たな研究の枠組みです。このフューチャー・アースの国際事務局の日本誘致に関わりました。意外なことに、誘致に手を挙げた 5 カ国が連携して、国際分散型事務局を形成するという、これもユニークな結果となり、その過程で、また新たな友人、同僚が大勢増えました。副会長退任後も、フューチャー・アースの事務局準備に関わっており、今後も、事務局運営を通していろいろな分野の研究者を縁の下から支えたいと思っております。また、フューチャー・アースには前駆的なプログラムのスコープを超えて、その究極的な目的は、地球の持続可能性と人類の健康と福祉でもあります。地球観測学や気象学、環境学と、まさに医歯薬アカデミーがカバーする学術分野との連携を推進することにもなります。医歯薬アカデミー会員、賛助会員の皆様にも、ぜひ「フューチャー・アース」を覚えていただき、今後、ご参画、ご支援をいただければと存じます。

●プロフィール

春日 文子

日本医歯薬アカデミー理事

日本学術会議第 22 期副会長

日本学術会議第 20～22 期第二部会員

国立医薬品食品衛生研究所安全情報部長